（本社・工場）

株式会社 加地テック

大阪府堺市

高圧圧縮機で世界へ飛翔（はばた）く！

常務取締役
石原　祥行　さん

◇御社の歴史を教えて下さい。

当社は、明治三十八年に繊維機械メーカーとしてスタートし、今年で百十四年になる「ものづくり」の会社です。現在は、高圧圧縮機を主力製品として、様々な用途に使用されるコンプレッサを世界に供給しています。特に、水素ガスを圧縮し昇圧可能にした空冷オイルフリー二〇〇気圧までの高圧圧縮機は、確固たる地位を獲得しています。

◇御社のものづくりへのこだわりを教えて下さい。

当社は、設計から溶接・加工、組立、出荷そしてアフターサービスまでを一貫して行っています。お客様の要望に応じた多品種少量生産方式で、常に新しい時代に取り組んでおり、製品の開発には高い技術的な壁にぶち当たることもありますが、これらの開発によりお客様により満足していただける製品へと改善を進めております。こうした困難に挑戦する姿勢により、技術的な多くの壁を乗り越えて、当社は高圧に特化したコンプレッサを開発し、業界のトップランナーとなりました。

また、環境への配慮も当社のこだわりです。主な製品として、二酸化炭素削減に寄与する天然ガス自動車のガス充填所向けコンプレッサ、絶縁ガスとして発電所・変電所で使用されるガスの大気放出を防ぐシステム等、環境改善に役立つ製品を数多く世に出しています。

現在、当社が最も誇る製品は、燃料電池自動車用の水素ステーション向け超高圧コンプレッサです。既に数十ヶ所で稼働し、業界からも高い評価をいただいています。現在、更なるコストダウン化、短納期、低ランニングコスト化に向けた水素ステーション用コンプレッサの次期モデルを開発し、商品化に向けて取り組んでいます。当社は、環境面でも配慮した高い圧縮技術で、日本に留まらず、世界各地に展開しています。

（水素コンプレッサ）

◇御社の人材育成について教えて下さい。

当社は、OJTとOff-JTの両輪で人材育成を行っています。「技術」（知識や理論）「技能」（カン・コツ）の継承はできていますが、その継承が課題になっています。そのため、現場でのOJTに軸足を置いた教育体系としています。人材育成には、時間と手間がかかりますが、短期間で一人前に育てるには、職場ローテーションを計画的に行い、各人に合った仕事を見つけてあげることも一つの方法です。

◇この仕事に就こうとしている人にアドバイスをお願いします

コミュニケーション能力と職場環境への適応力が重要だと思います。現場では、職人さんとのコミュニケーションを図ることが不可欠です。今の若い人は、消極的な方が多いように感じます。分からないことは積極的に聞き、自ら飛び込んでコミュニケーションを取っていくことが大切です。また、「教えてもらっていないから、出来ません。」という声を耳にすることが多くなりました。積極的に「教えてください」という姿勢を持っていただければと思います。

◇ポリテクセンターから採用した感想は？

修了生は、基礎的な知識を身に付けているので、現場への適応が早いので助かります。さらに、自らの夢や目標を明確に持っているので、他の中途採用者と大きく違いますし、知識の吸収も早いです。

◇ポリテクセンターに期待することは？

訓練期間中に、より多くの資格を取得できるよう訓練生の皆さんにご指導していただければと思います。

（天然ガススタンド）

（令和元年十月取材）

修了生の声（機械加工NC科）
平成３１年2月修了
中野　慧悟　さん(34歳)

ポリテクセンターに入る前は、SEや事務職、品質管理の仕事をしていました。元々、ものづくりの仕事に就きたかったのですが、大学卒業時は経済不況下にあり、希望は叶いませんでした。

転職時、ものづくりへの夢に再挑戦しようと考え、機械加工NC科に入所しました。手先が器用でない私は、訓練では人よりも努力が必要でした。しかし、幸運にも企業実習付コースでしたので、訓練では学べない現場を体験することができました。現在は、先輩に付いてマシニングセンタの見習いをしています。先輩方は、仕事の段取りが良く、技術が高いので大変勉強になります。今では、製造工程で押さえるべきポイントを理解できるようになりました。一年を目途に、機械を使いこなせるようになりたいと思いますし、早く会社の戦力になりたいと考えています。

最後に、訓練生の皆さんに伝えたいことは、何事もやってみなければ分からないということです。結果を恐れず、積極的にチャレンジして下さい。また、努力は人を裏切らないものです。六か月間、全力で取組んで再就職を勝ち取って下さい。